

ENGINE NEWS vol.10

地域基幹産業を再定義・創新する人材創出プログラム「ENGINE」

事業連繫大学：信州大学、富山大学、金沢大学

「ENGINEプログラム」2022年度 始動！

ENGINEプログラムのコンセプト

ENGINE事業は、人口減少やポストコロナ社会を見据えて「移動・交流・体験」価値を再定義し、観光や生活の基盤となる新しいモビリティや施設活用、食や健康産業の未来を拓く人材を育成することを目的としています。広域的な産学官連携プラットフォーム「円陣」を構築し、富山大学、信州大学や金沢大学の教育資源と産学連携を融合したサーティフィケーション・プログラムの構築を目指しています。

学びを可視化「学修ポートフォリオ」の活用

ENGINEプログラムの実施においては、人材能力評価指標ルーブリックを用いた評価「学修ポートフォリオ」を導入しています。学生自身が「何を目的に、何を学んだか？」が一目で分かる仕組みによって学びを可視化でき、卒業後も地域での学びが継続できるようサポートしています。

この仕組みを活用することで、就活時に必要なガクチカ（学生時代に力を入れたこと）やエントリーシートを作成する際の根拠資料とすることが期待できます。詳しくは、「富山の地域づくり～地域のトップリーダーを繋ぐ」やENGINEインターンシップ参加時にお知らせ致します。

「富山の地域づくり 地域のトップリーダーを繋ぐ」

富山大学・信州大学・金沢大学をオンラインでリアルタイムにつなぐ授業「富山の地域づくり～地域のトップリーダーを繋ぐ」（前期・ENGINE必修科目）が4月18日（月）から開講しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大、また、過疎化や人口も減少している中、新たに交流や関係人口を広げることで需要や地域イノベーションを起こしていくことは急務となっています。そこで地方創生も一圏域ではなく、広域的に考えていく必要があります。この授業では、3大学、4つのテーマ（基幹産業）で展開していきます。まず、全体のガイダンスの後、金沢大学が観光をテーマに講義を行ったあと、信州大学が食をテーマに、続いて富山大学がインフラ、最後に信州大学が交通をテーマに講義を行います。それぞれのテーマに沿って、企業からも講師として参加頂きます。

「広域的な地方創生」に対して、3大学混合の学生グループが話し合いによって、分析や解決策を考えるアクティブラーニングが特徴の授業です。受講学生の皆さん、ぜひ、ご期待ください。

令和4年度のキャリア形成フェーズ

大しごとーくin富山

「ENGINE NEWS」のVOL.5の記事で紹介した、学生と企業人が気軽に対話する交流会「大しごとーくin信州」を今年度は、富山大学（五福キャンパス）でも実施します。生き方や働き方を考えるきっかけづくりの場として、学生の皆さん、ぜひ、ご活用ください。

なお、開催時期は7月初旬を予定しています。詳細が分かり次第、「ENGINE NEWS」などで、お知らせ致します。

大しごとーくin信州&富山県・石川県

信州大学による「大しごとーくin信州」は、下記の日程で開催します。長野県企業だけではなく、富山県、石川県の企業も参加予定です。富大生の皆さんも参加可能ですので、ぜひ、ご検討下さい。

11月12日（土）大しごとーくin信州

11月13日（日）就活生向け企業説明会



「大しごとーくin信州 2021」開催の様子

ENGINE担当理事 メッセージ

北陸新幹線の利用者数は、2015年の開業以降高水準を維持していましたが、2020年以降、コロナ禍で大幅に落ち込みました。しかし、外出自粛やリモートワークなどを強いられたこと、新たな生活様式への対応が求められたことなどから、移住定住を含めて地方への期待が高まっています。

COVID-19の感染が落ち着いた時に向けて、将来的には大阪まで結ばれるという北陸新幹線の活用と地域の活性化とを相乗させた取り組みが求められています。

これからの地域を支える人材を育てる「ENGINEプログラム」は、沿線三県にある信州大学、金沢大学、富山大学が連携して行う、まさに次代の地域づくりに向けた事業です。

皆様のご理解・ご支援を得て大きな成果に繋げていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願い致します。

担当理事・副学長 武山良三

